

平成 19 年度



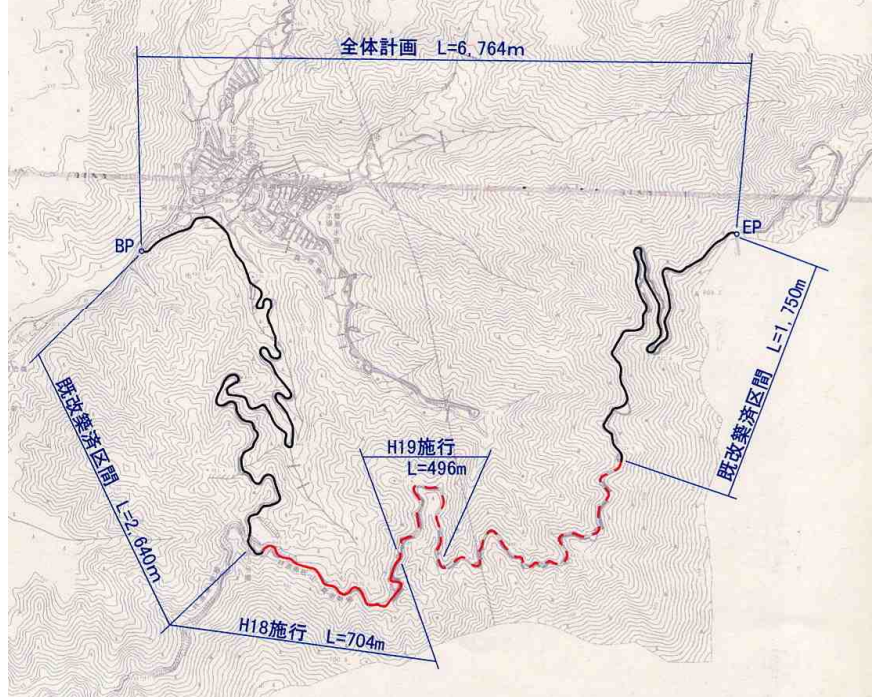
第 5 回岐阜県事業評価監視委員会

【森林整備課所管事業審議資料】

再評価対象箇所一覧表 1
再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について 森林居住環境整備事業 2
平成 19 年度 再評価実施箇所（附図） 森林居住環境整備事業（奥板山 ^{おくいたやま} ～真寄勢 ^{まよせ} ） 3

事業制度について	事業名	森林居住環境整備事業	
	事業目的	山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。	
	採択基準	基幹道・・・地域森林計画に記載された林道。開設効果指数が 1.2 以上。利用区域面積が 1000ha 以上、かつ全体計画延長が 7km 以上。着工後 10 年以内に利用区域面積の 10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。 管理道・・・地域森林計画に記載された林道。開設効果指数が 0.9 以上。利用区域面積が 50ha 以上、かつ全体計画延長が 1km 以上（過疎、特定・準特定市町村等は 30ha 以上かつ 0.8km 以上）。着工後 10 年以内に利用区域面積の 10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。	
	概要 (メニュー)	<ul style="list-style-type: none"> ・森林基幹道開設 ・森林管理道開設 	
費用対効果の分析について 費用対効果 B/C *	効果の項目	うち貨幣換算する項目 《B》	<ul style="list-style-type: none"> ・水源かん養便益 ・山地保全便益 ・環境保全便益 ・木材生産等便益 ・森林整備経費縮減等便益 ・一般交通便益 ・森林の総合利用便益 ・災害等軽減便益 ・維持管理費縮減便益 ・山村環境整備便益 ・その他の便益
		その他項目	
	費用 《C》 の算定	費用の積み上げ基準 = 事業費（建設費）+ 維持管理費 単価の基準（事業開始年度単価） （割引率 4%） 維持管理費の考え方（項目・・・林道維持管理費、機械借り上げ料等） （積み上げ年数・・・事業実施時から事業完了後 40 年間）	
	費用対効果比の基準	B / C = 1.0 以上	

平成19年度 再評価実施箇所(附図)

番号		事業名 <small>(路線・河川名等)</small>	森林居住環境整備時事業 おくいたやま まよせ 奥板山～真寄勢 線		
事業実施箇所	起点: 関市洞戸字奥洞戸 終点: 美濃市片知字浦山	事業主体	関市		
採択年度	平成6年度	完了年度	平成24年度		
再評価の実施基準	事業採択後長期間が経過した時点で継続中の事業				
事業目的	当林道は、森林基幹道 中美濃線に連絡しており森林施業にとって重要な路線でありながら、通行の安全に支障をきたしている。このため、法面保護工及び舗装工事等を実施し、通行の安全を図る。				
事業概要	事業延長 L=6,764 m (法面保全 舗装 排水施設)				
概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施行前</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施行後</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>				